

【JBA創薬モダリティ基盤研究会員、JBA法人会員、JBA個人会員（アカデミア）限定】

JBA創薬モダリティ基盤研究会セミナー

「標的タンパク質分解誘導の最前線： AUTACとLYTACの革新」

主催：（一財）バイオインダストリー協会 創薬モダリティ基盤研究会

2025年9月17日（水）14:00～15:35
オンライン（MS-Teams）開催

座長：北 寛士 氏（株式会社カネカ）



「AUTACによる選択的オートファジー誘導：
基盤技術と創薬応用の可能性」

有本 博一 氏（東北大学大学院生命科学研究科 教授）

選択的オートファジーによる分解誘導技術「AUTAC（Autophagy Targeting Chimera）」は、従来のプロテアソーム分解型では困難であった細胞内凝集タンパク質や異常オルガネラの除去を可能にする新しい創薬モダリティとして注目されています。本講演では、AUTACの分子設計原理と作用機序、さらに今後の創薬展開の可能性について最新の知見を紹介します。

「細胞外・膜タンパク質の分解を可能にする
LYTAC（Lysosome-Targeting Chimera）
の開発」

濱田 圭佑 氏（東京薬科大学薬学部 助教）



LYTAC（Lysosome-Targeting Chimera）は、エンドサイトーシス経路を介して細胞膜および細胞外タンパク質をリソソームへ送達し、選択的に分解する革新的技術です。LYTACの設計戦略と作用機序、標的の拡張可能性、そして治療応用の展望について解説し、既存の分解誘導薬とは一線を画す新規創薬モダリティとしての可能性を議論します。

お問合せ：JBA創薬モダリティ基盤研究会事務局 中戸川・北嶋